

数字が苦手の人でもわかる
決算書の読み方

第3回

貸借対照表

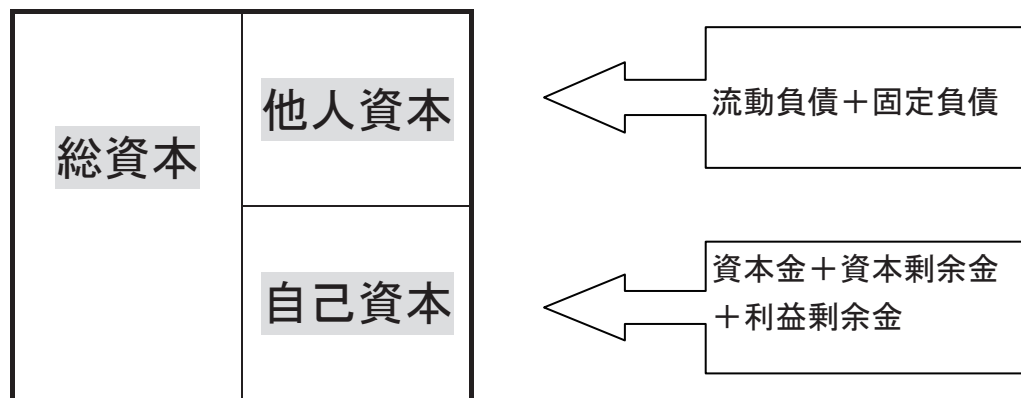
【自己資本比率】

倒産するかどうか分かる自己資本比率

自己資本比率	
内容	$\text{自己資本比率 (\%)} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$ <p>自己資本とは返さなくてもよい資本 資本金・資本剰余金・利益剰余金 総資本とは自己資本+他人資本 貸借対照表の合計金額</p>
意味	資本のうち返さなくてもよい資本の率
どうなればいいのか	高いほど良い
目標値	40%
赤字企業	-4%
黒字企業	25%
優良企業	53%
評価	理想企業 70% 優秀企業 40~69% 普通企業 20~39% これから 0~19% 欠損企業 0%未満
効果	つぶれない会社となる
対処策	<input type="checkbox"/> 自己資本の増大 限界利益アップ 固定費の削減 <input type="checkbox"/> 総資本の削減 売掛金の削減 在庫の削減 固定資産の削減

貸借対照表の分析

貸借対照表は次のように表現することがあります。



それでは、任天堂の数字を例に貸借対照表を分析してみましょう。

総資本 1,802,490	他人資本 572,516
	自己資本 1,229,973

自己資本比率(%) = 自己資本 ÷ 総資本 × 100

$$1,229,973 \div 1,802,490 \times 100 = 68.2\%$$

評価	
68.2%	優秀企業

自己資本比率が高くなると.....

- ①資金繰りが楽になる
他人資本つまり借金の割合が減るので、資金繰りがよくなる
- ②節税だけに心が動かなくなる
節税をやりすぎると利益が残らなくなってしまう
- ③信用がアップする
銀行や取引先の信用格付けが良くなる

取引先の貸借対照表を見る場合、
まず、どこを注目すればいいのでしょうか？

得意先や取引先の場合、信用第一という観点から、
まず気になるのが、**つぶれにくい**かどうかです。
ですから、貸借対照表においては、
自己資本比率
に注目してください

無借金経営、本当に理想なのでしょうか？

たしかに無借金経営なら、**自己資本比率**
すごく良くなるでしょう。
しかし、時と場合によります。
会社が成長しているときには、借入金
どうしても必要となってきます。
借入金は、成功のための**時間とスピード**
を買うものと言えます。